

田んぼダムに関するよくある質問



質問
1

水稲など作物の生育に影響がないのですか？

石川県の実証実験で取り組んだ農家へ聞き取りした結果、作物への影響はなかったことが確認できています。また、国や他県での取組結果でも、生育状況や収量、品質への影響は報告されていません。

取組は、作物の生育に影響のない範囲で構いません。

質問
2

調整板をつけることでゴミや草がつまって手間がかからないのですか？

石川県の実証実験では、通常の排水口の管理と変わらないということでした。

質問
3

畦畔（あぜ）が低くなっているところや、壊れている排水柵がありますが、田んぼダムに取り組めますか？

畦畔の高さは確保できている方が取組効果は高いため、畦畔が低い場合や空洞、陥没がある場合は補修が必要となる場合があります。

畦畔の補修や排水柵の取替を行いたい場合は支援事業がありますので、担当窓口へお問い合わせください。



質問
4

調整板はどのように入手、準備すればよいですか。

調整板入手の費用は支援事業がありますので、活用してください。

また、どのタイプの調整板を利用するかなど、取組に関して迷われる場合は、県や市町の担当窓口でご相談ください。



田んぼダムの取組実施に関する問い合わせ先

市町の機関

連絡先

石川県の機関

事務所名	住所	電話番号
南加賀農林総合事務所 土地改良部	小松市園町ハ108-1	0761-23-1705
石川農林総合事務所 土地改良部	白山市馬場2-113	076-276-0526
県央農林総合事務所 土地改良部	金沢市直江南2-1	076-239-1752
中能登農林総合事務所 土地改良部	七尾市小島町二部33	0767-53-3000
奥能登農林総合事務所 土地改良部	輪島市三井町洲衛10-11-1	0768-26-2326

田んぼダムの取組



～あなたも取り組んでみませんか～

石川県でも、近年、豪雨災害が頻発しています。

「田んぼダム」は、田んぼが持つ「雨水貯留機能」を活かし、

田んぼに降った雨を一時的にたくわえ、

時間をかけてゆっくり下流へ排水することで、

洪水被害を防止・軽減する役割を

果たすことができます。



調整板設置の状況

田んぼダムに関する動画は
こちらからご覧ください



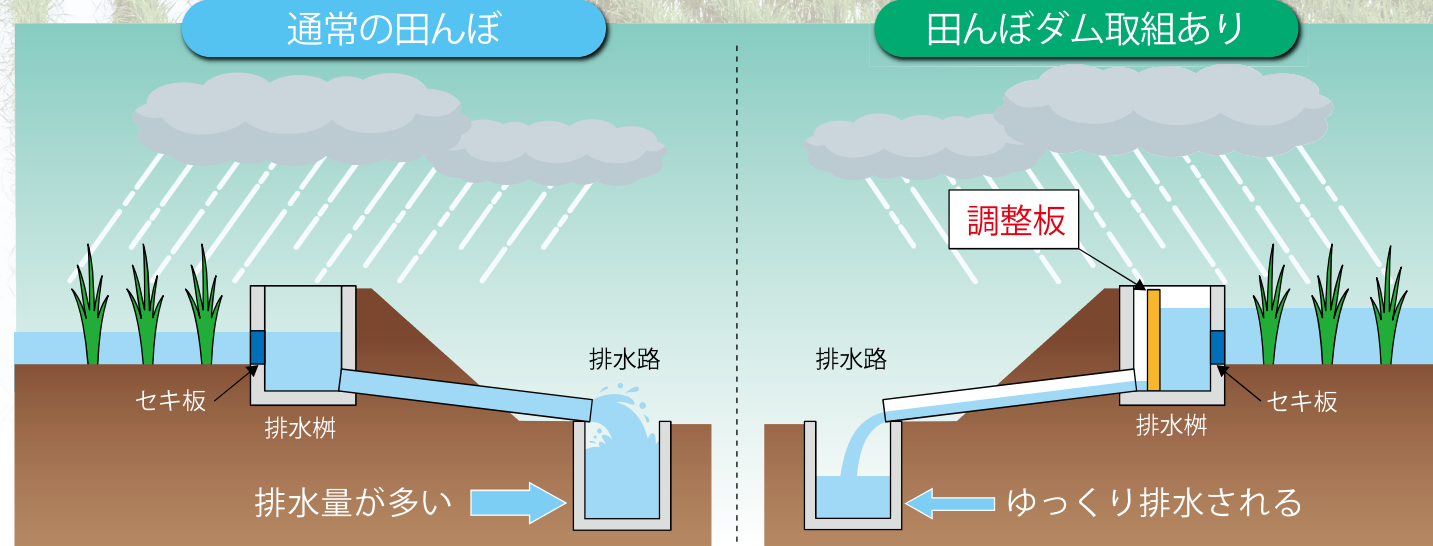
石川県農林水産部

田んぼダムとは

- 「田んぼダム」は田んぼが元々持っている雨水を貯める機能を最大限に活用した取組です。
- 田んぼに降った雨は、「田んぼダム」により排水路に流れる流出量を一時的に抑えられ、時間をかけて流れます。
- 各田んぼに調整板を設置し、地域全体で取組むことにより地域の流出量が抑えられ、周辺の洪水被害を防ぐことにつながります。

田んぼダムのしくみ

- ① 排水柵に専用の「調整板」を取り付けます
- ② 田んぼに降った雨をたくわえ、田んぼから流れ出す水を減らします
- ③ 田んぼに貯めた水は、時間をかけてゆっくり排水されます



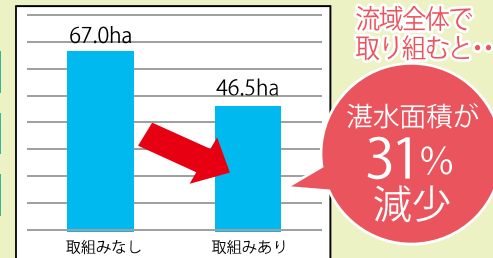
田んぼダムの取組効果

石川県では、県内のモデル地区で流出解析及び氾濫解析を行い、田んぼダムの取組をした場合としない場合の湛水被害のシミュレーションを実施しました。

その結果、下図のとおり田んぼダムの取組を実施した場合は、湛水被害の区域や湛水深が減少することが明らかになりました。

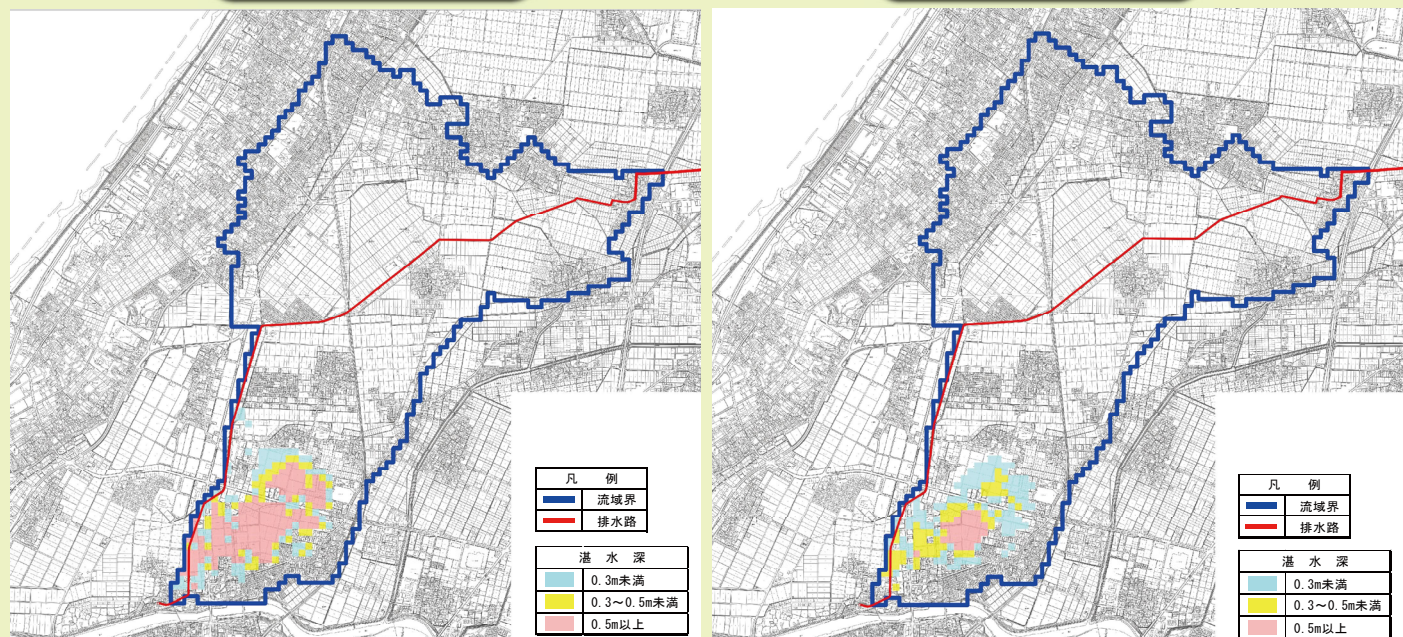
田んぼダムのメリット

- 1 一気に排水しないので、排水路の水量を減らせる
- 2 排水路から水があふれることを軽減できる
- 3 取組地域及び流域内での湛水被害を軽減できる



取組なしの場合

取組ありの場合



●本シミュレーションは、梯川右岸第2排水機場を最下流端として50年に1回程度起こりうる降雨が西川排水路の流域内で降った場合の湛水状況を簡易的に試算した結果です。
●「取組あり」は、流域内全体の農用地で田んぼダムに取組んだ場合を想定して試算した結果です。

調整板の種類と畦畔

田んぼダムの排水柵・調整板

【機能一体型】

水田の水管理を行う通常のセキ板に流出量を調整する機能を付け加えた調整板。小規模な降雨から雨水を貯留する。



【機能分離型】

水田の水管理を行う通常のセキ板の背後に、流出量を調整するために設置する板などの調整器具。小規模な降雨では雨水を貯留せず、大規模な降雨で貯留する。



田んぼダムを実施するための畦畔



「田んぼダム」を実施する水田では、十分な高さ（30cm程度）のある堅固な畦畔が必要です。

農林水産省「田んぼダムの手引」より

田んぼダムの営農への影響

収量や品質への影響

令和6年度に能美市で実施した実証試験の結果では、「収量」、「整粒」、「食味評価値」の3項目について、田んぼダムに取組んだ田と取組まなかった田では、ほとんど差がありませんでした。

水管理への影響

令和5、6年度に石川県が実施した実証試験において、田んぼダムに取組んだ農家への聞き取りでは、調整板は中干期間以外はほとんど設置したままで、水管理の方法や手間は、通常と比較してほとんど変わることはありませんでした。

田んぼダムを実施しても、通常の水管理や収量とほとんどかわらなかったよ！

